

『バランスαニュース』はユーザーの皆様と販売者、メーカーを結ぶ情報交換誌です！



〒170-0002 豊島区巣鴨 2-16-4 M7 2F 203号
TEL 03・35765811 FAX 03・3576・5815
フリーダイヤルお客様センター 0120・76・5812
バランスα <http://www.balance-alpha.com/jp/>
お米 <http://www.takahashitsuyoshi.com/>

こんにちは、平城匡史です。



私たちの会社『高橋剛商会』は設立が2004年1月なので7年目に入ったところですよ。で、この会社始める前は何か化粧品業界にいたの？ やっぱり食品とってよく聞かれます。え〜とつ、永くゼネコンで働いていて、その後はマンションデベロッパーにいました」と言うのと、皆さん一様にびくりされますね。「ゼネコンの人間がどうしてお米屋さんを？ どんな出会いがあったの？ よく決断できたね！」



高橋剛さん

私たちが初めてお会いしたのは、デベロッパーを解雇される1年ほど前。デベロッパーとして立ててかっこいい理由があったわけはありません。ゼネコン辞めたのは、会社が倒産したから。デベロッパーを辞めたのは、会社の方針を批判してクビになったから。最後にはさすがに、「自分は勤め人には向かない人間だ」と思っていました。高橋剛さんと初めてお会いしたのは、デベロッパーを解雇される1年ほど前。デベロッパーとして立ててかっこいい理由があったわけはありません。ゼネコン辞めたのは、会社が倒産したから。デベロッパーを辞めたのは、会社の方針を批判してクビになったから。最後にはさすがに、「自分は勤め人には向かない人間だ」と思っていました。

「世の中には、すごいお百姓さんがいるもんだなあ」と感心しましたが、まさか自分がその方と一緒に仕事をすることになるなんて夢にも思いませんでした。その後しばらくして高橋さんから、「おいお前、うちの『バランスα』を売ってみないか」と声をかけられました。その時に一緒に紹介されたのが今の相棒の目黒君。間もなく私が会社を辞めさせられたので、話は急に進んで一気に会社設立までこぎつけます。『どうして高橋剛商会って名前にしたの？』目黒君も僕も「健康食品」を販売したいとか「化粧品」を販売したいとか「お米」を商売したいかと思っただけじゃないんです。何より自分たちが「すごい人だ」と感動した高橋剛さんとい



う人（と彼がプロデュースしたモノ）を世の中に広めたくて会社を始めました。だから、この名称が会社のスタンスを一番正直に表現していると思います。でも、『バランスα』は最初は苦しかったですね。僕も目黒君も「微生物」とか「健康食品」とか、どシロウトだったし、どう説明していいか、どんな人がお客様なのか、どこで売ったらいいか、全くわかりません。

「自然農法主義」という僕らの会社のキーワードに結実しました。いま、目黒君は『バランスα』が「肌の健康」や物言わぬ「ベットの元氣」に役立つことに着目し、そういう分野での商品開発やプロモーションを行っています。昨年入ってくれた上田さんもこの分野をサポートしてくれています。そして僕は『バランスα』の素材であるお米を勉強する中で、日本の「食」と「農」のおかれた現状の問題に直面し、家族の食卓の再生「おうちでごはん」推進運動と、「食」のつきせぬ宝庫であり「農」の場である山形県真室川の地域再生の課題に取り組んでいます。

「自然農法主義」という僕らの会社のキーワードに結実しました。いま、目黒君は『バランスα』が「肌の健康」や物言わぬ「ベットの元氣」に役立つことに着目し、そういう分野での商品開発やプロモーションを行っています。昨年入ってくれた上田さんもこの分野をサポートしてくれています。そして僕は『バランスα』の素材であるお米を勉強する中で、日本の「食」と「農」のおかれた現状の問題に直面し、家族の食卓の再生「おうちでごはん」推進運動と、「食」のつきせぬ宝庫であり「農」の場である山形県真室川の地域再生の課題に取り組んでいます。『バランスα』という様々な分野に役立つ素材を提供してくれ、商売のベースを与えてくれ、さらにそれを超えて自分たちが生きていく課題を発見し、それに打ち込んでいくチャンスを与えてくれた高橋剛さんはやっぱり僕たちの大恩人ですね。普通にお会いしているときは、喧嘩っ早い、説教好きの困った頑固おやじなのですが…

★実は、昨年『高橋剛商会』は出版社の取材を受けました。★東京都中野区の小学校で 田植えを行い、食育の授業風景が日本農業新聞に掲載されました。



【発行】フォレスト出版株式会社 <http://www.forestpub.co.jp/>
 【制作】株式会社 スノーボード
 【CD制作】 三好メディアプロダクト株式会社
 (ビジネスサイトホームページ) <http://www.b-b.jp>
 ©2009年制作 (CD/DVD) 三好メディアプロダクト株式会社
 Copyright ©2009 Forest Publishing Co., Ltd. All Right Reserved.
 このCD/DVDを複製または転載して、無断で第三者に複製または転載することを、
 個人的な範囲を超えて使用目的で複製すること、ネットワーク等を介して
 このCD/DVDに収録された音声を送信できる状態にすることを禁じます。

後の思い出は農業体験



山形県今年度最後となる
 山形県中野区立中野小学校
 で行った山形県産米の食育
 体験授業の様子。(左)山形県
 産米の食育体験授業の様子
 を撮影した。

おい目黒君！
 それは出さない約束だった
 じゃないか！
 なんかに俺たちすごいだろ
 うって自慢しているみたく
 いで、恥ずかしいよ…

これと言った広告
 宣伝も一切なく、お
 客様からお客様へ商
 品の良さが伝わった
 理想的なケース、と
 いう“最大級の評価”
 をいただきました。
 さらに、そのイン
 タビューがCD化され、
 会社経営者、これ
 から起業を目指す
 人々向けの教材と
 なりました。

★「日本鍋協会」に所属し、
 その活動が日本経済新聞 に掲載されました。

メンバーの方々からは『芋の子鍋はダントツに美味しい！』とお墨付きをもらいました。



日本鍋協会の飲み会では「ぼやき上手」も楽しみ（東京・新宿）

“良い商品”を出す
 ことが、会社の原動力
 という我が社の姿勢が
 評価されたんだから、
 自慢できることだと
 思いますよ。



“良い商品を見分ける
 力がある”
 ということが証明され
 たことになるのですか
 ら、うれしいことだと
 思いますよ。



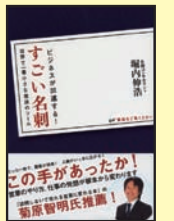
東京の出版社から、昨年、取材を受け、“未曾有の不況の中でも売上を落とさない会社”、“これといった広告宣伝なしで、お客様からお客様へ「商品の良さ」が伝わった”という最大級の評価を頂戴し、会社経営者や、これから起業を目指す方々に向けたCD教材にさせていただけることになりました。

「商品の良さ」が商売繁盛の原点

というあまりに当たり前な内容なので、“かっこいい商売”や“最新のマーケティング理論”を求める方々には、全然役に立たないと思うのですが、インタビューをしてくれた編集者さん曰く、「お話を聞いて、改めて反省させられましたよ。商売は商品ありき、だって。消費者を煽って売り込んだり、デザインや容器や包装で実力以上に見せて

も、売上は長続きしないんですね。商品はマーケティングで売るものじゃなくて、商品自体の力で売るものですね」

さて、そんな私でも尊敬し、師事しているビジネス作家がいます。『書くマーケティング』『ビジネスが加速する すごい名刺』など既に8冊の著書がある堀内伸浩さん。モットーは『正直ライティング』。出版社からは引っ張りだこで現在も3冊同時進行で執筆中とか。



商売というコミュニケーションで最も大切な姿勢が「正直」です。だから自分の思いや商品の現実、ありのままに「正直に」表現する、それが出発点であり、到着点である、そんなポリシーが伝わってくる素敵なおネーミングです。(平城)

実は、その堀内伸浩さんにインタビューしてもらったことがあります。

平城さんのお話の中で私が最初に興味を抱いたのは彼のマンションデベロッパー時代の考え方です。「会社の姿勢はマンションを売って終わり。悪く言えば売り逃げなんです。会社としてはお客様からのクレームが恐かったわけです。新規事業の開拓部門にいた僕は、せっかくお客様になっていただいた方たちと後々までつながれないものかと考え、リフォーム部門を立ち上げたのでした」(平城さん)

もっとも最初はやはりクレームばかりだったそうですが、お客様の話に熱心に耳を傾けるうちに人の住まいに対する“夢”が見えてきたそうです。そうしたお客様の夢を叶える長期的なプランを提

案した平城さんは、お客様に自ずと受け入れられて行きました。しかし、そのやり方は会社の方針と反目し解雇になるわけですが、平城さんの考えは『高橋剛商会』の中でさらに練磨されて行きました。

高橋剛さんという“本物の存在感を持った人物”と出会い、『自然農法主義』をコンセプトにした“本物の商品”の良さを、どのようにお客様の心に伝え、届け、幸せを感じてもらえるか。それを模索しつづける姿勢に、薄っぺらなビジネス戦略にはない、“商品を通じて人と人が良好な関係を築いていく大切さ”を教えていただきました。

by 堀内伸浩

私たちが皆さまにご提供したいと考えているのは、

「身体自らが“抵抗力のある健康”を取り戻そうとする力」

これらの「力」の本当のベースを作るのは「食」です。

今、都会の方々の中からも自分たちの「食」を見直そう、という動きが広まっているようです。幸い私どもがその拠点を置く山形県真室川は、全国でも有数の「食」の宝庫です。

とりわけ再評価が進む「日本農村の伝統食」という点では、素材もレシピもそしてそれを守り育てる人材も、豊富な「資産」があります。

今年は、そんな豊かな真室川の「資産」をできるだけたくさん皆さまにご紹介したいと考えております。どんな企画があるかと申しますと…

春

*天然の山菜のお届け(4月~6月)

雪解けと共に芽吹く様々な山の恵み、今年は山菜採りの名人ヨシミおじさんが山深く分け入って採取した天然物の山菜を皆さまにお届けいたします。

地元のならではの伝統的な食べ方のレシピも添えますので、初心者でも簡単に調理できます。ただ、天然物ですから数量はごく限定されます。『バランスαニュース』3月号でお知らせしますので、お見逃しなくしてくださいね。



初夏

*田植え~山菜採りツアー(6月初旬)

今年の真室川ツアーは、一泊二日で『田植え』と『山菜採り』の両方をやっちゃう、という欲張リツアーを計画中。詳細は『バランスαニュース』3月号をご覧くださいね。



*収穫(刈入れ)~『食の文化祭』ツアー(10月初旬)

初めて秋のツアーを企画します。春に植えた稲の刈取体験に加えて、真室川のおおちゃんたち手作りのお祭り、『食の文化祭』に参加し、伝統料理の実習や真室川伝統の『食べごと会』で、地元の方々と仲良しになってもらいます。そして無農薬で安全な、すく味濃い地元野菜をてんこ盛り持ち帰ってくださいね。



秋



*黒米(古代米)販売(11月初旬)

今年は、高橋直樹さんをお願いして黒米を有機農法で作っていただきます。これを玄米に混ぜて炊くと、あら不思議!お赤飯のような綺麗な淡い紫色のご飯に仕上がります。その上、玄米くささがほとんど消えてしまうのです。

もちろん栄養価も抜群に高く、特に美容効果が高いと言われています。健康のために飲まれる方いる「黒酢」ってこの黒米(古代米)で作られているんですよ。



*最上地方のお漬物、保存食(初冬)

真室川のある山形県最上地方は保存食の宝庫です。昨年お米のお客様に、プレゼントで「お漬物」をお贈りしたところ、これが大好評。保存料や着色料など化学合成物質を全く使わない家庭の味わいが、特に男の方やお酒を飲まれる方から絶賛され、ぜひこれを販売してほしい、というお声を多数頂戴いたしました。今年はお漬物に加えて、かつて雪深い冬場に野菜不足を補った『天然山ぶどうの原液ジュース』『わらびの塩漬け』『凍みダイコン』『ばっけ味噌』『くじらもち』などをご紹介します予定ですので。



★★★★★『バランスα』無料サンプルお申込み要項★★★★★ ユーザー様のまわりに…

健康・美容・老化で、お悩みの方はいらっしゃいませんか? その方に『バランスα』が無料でお試しできることを教えてあげてください。

(株)高橋剛商会では『バランスα』のユーザー様からご紹介された方、販売店等のチラシで『バランスα』に興味を持たれた方など毎月20名様に『バランスα』のサンプルと資料を無料進呈させていただきます。右記要領で、試されたいご本人様からお申し込み下さるよう、お願い致します。



1. 期間:3月1日(月)~ 午前9時より受付開始。定員になり次第締め切り
2. 申込者:試してみたい方ご本人
3. 申込方法:無料フリーダイヤルへ FAX 0120-76-5812
4. 必要記載内容:ご本人様の氏名・住所・電話番号

■インターネットからでもお申し込みいただけます■

バランスα

検索

*無料サンプルは1人でも多くの方に試していただけるよう、1家族様1本とさせていただきます。

ほっとけなぬ！スキンケア問答



目黒さ～ん、たいへんです。朝起きたら、腕が粉ふいちゃって、かゆいんです。それも右腕だけ。

朝から騒々しいなあ、今忙しいんだから。たしか…上田さんは左利きだったね。それが原因だよ。

上田 左ききと右腕の粉、いったいどういう関係があるんですか？（ちゃんと見てくれない。う～ん冷たい）

目黒 上田さんは、お風呂で最初に洗う箇所は右腕でしょ？

上田 あっ、そういえばそうです。でも、目黒さんに言われたとおりポティソーブじゃなく、ちゃんと純石鹸を使っていますよ。

目黒 純石鹸であっても最初に泡が触れる箇所が汚れを落とす力が強いんだ。それと強くこすったのが原因だね。

上田 そうだったんですか。顔だけじゃなく体も「こすらない」「たたかない」が大切なんですわ。

目黒 そう。特に洗顔や入浴時の肌は水分を含み柔らかくなる。肌と言うより、正確には角質が柔らかくなっているんだけどね。

たとえば、濡れた紙のような状態。濡れた紙を指の腹でグリグリすると簡単に崩れていき、穴があいてしまうよね。洗顔や入浴している時の肌（角質層）はこの「濡れた紙」だと思うべきだね。



上田 はい、わかりました。「チャレンジ精神NO.1」ですからすぐに実行します。

やります、できます、続けま～す。これからは気をつけますので、この「乾燥」と「かゆみ」を早く治す方法を教えてください。やっぱり「かゆみ止め」とかの薬をつけたい方がいいんですか？

目黒 かゆいのは、バリアゾーンの角質がはがれて外部刺激を直に受けているからなんだ。薬を塗っても一時的にかゆみは止まるけど大切な角質は育たないから、ジェンティールの「モイスチュアローション」で保水して「ビューティーオイル」で保護しておけば改善されると思うよ。

肌のにせる感じでつけるんだよ。すりこむようにつけると角質が傷むからね。

上田 はい、わかりました。（最後はやさしくアドバイスしてもらえました。よかった、ホッ。）



ここがポイント

- ◆ナイロンタオルなどでゴシゴシ洗いは×
- ◆気をつけていても意外と強くこすっていることが多い。
- ◆手でなでるように洗うか、タオルの重さを感じる程度で優しく滑らす程度で十分。
- ◆痒みを感じたら…石鹸の泡を置くだけにしておすぐに洗い流す。
- ◆まずは角質が育つようにしっかり保水。
- ◆角質が傷んでしまうので界面活性剤入りのクリーム、乳液類は×

上田：ところで目黒さん、さっきから、なに一人でニヤニヤしてるんですか？

目黒：実はね…

まだ、あまり大きな声では言えないんだけどね…。

上田：も～、何ですか？

もったいぶってないで早く言ってくださいよ。

目黒：実はね…。

ついに来たんだよ。

上田：何がですか？



目黒：UVだけとクリームじゃない。

上田：う～ん。「ジェンティール」は界面活性剤不使用だから乳液でもないし…。

じゃあ、来月

「ジェンティール」初の「UV……」の発表ができるんですね。

紫外線対策は早目の方が効果的ですから、きっと、みなさん首を長～くしてお待ちかねですよ。



「ジェンティール」担当の目黒です。

肌トラブルのないお肌をめざして次はあなたがお試しください

「無料サンプル」お申し込みは **0120-76-5812**

■ホームページからもお申し込みいただけます■

自然農法 スキンケア

検索

◆「無料サンプル」は一人でも多くの方に試して頂くため一家族様1回とさせていただきます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。